

第9回 男女混合輪投げ大会

1. 期 日 平成31年1月13日（日）午前9時競技開始（受付：8時30分～）

2. 会 場 矢巾町民総合体育館

3. 競技規定 (1) 矢巾町民スポーツ大会輪投げ競技規則及び日本ワナゲ協会公認規則
及び方法 を準用する。

(2) 試合は、予選を単独投輪方式とし、決勝を交互投輪方式とする。

また、予選及び決勝の投輪順は、次のとおりとする。

1. 小学生以下
2. 中学生～40才未満（女）
3. " （男）
4. 40歳以上60歳未満（女）
5. " （男）
6. 60歳以上70歳未満（女）
7. " （男）
8. 70歳以上 （女）
9. 70歳以上 （男）

予選は、単独投輪方式により、区分ごとに2セット（9本×2回）行い、得点の良い方をその区分の正式記録とし、チームの合計点により上位16チームが決勝トーナメントに進出する。同点の場合は、チーム内でより高い得点者がいるチームを上位とする。

決勝は、予選上位16チームの交互投輪方式によるトーナメント戦とし、勝敗数により勝負を決する。

(3) 選手登録は1チーム20名以内とし、次の区分によりチームを構成すること。

- | | |
|---------------|---------|
| ア、小学生以下 | 男女問わず1名 |
| イ、中学生以上～40歳未満 | 男女各1名 |
| ウ、40歳以上60歳未満 | 〃 |
| エ、60歳以上70歳未満 | 〃 |
| オ、70歳以上 | 〃 |
| | 合 計 9名 |

- (4) 選手の交代は、各ゲーム内での交代は認めない。(予選の第1ゲームと第2ゲームの間や決勝の各試合の間などの交代は認める)
- (5) 審判は、組合せ表の指示により各参加チームから協力すること。

4. 参加資格 大会総則7による。
5. 参加申込 平成30年12月19日(水)～平成31年1月4日(金)午後5時までに矢巾町民総合体育館に申し込むこと。*12/29(土)～1/3(木)の期間は町民総合体育館が休館日のため受付できません。
6. 代表者会議 平成31年1月8日(火)午後6時30分から矢巾町民総合体育館会議室で行う。
及び抽選会

輪投げ競技規則

1. 用具

(1) 台 (ワナゲ台)

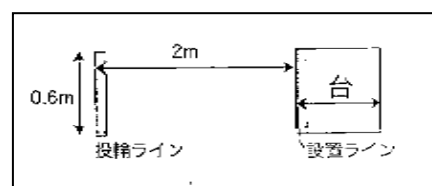
木製60cm×60cmの白地、上段左より4・9・2、中段左より3・5・7、下段左より8・1・6の数字を茶色で印した日本ワナゲ協会公認台。各数字の上にはポール (得点棒) を固定し、台裏には傾斜をつけるための脚2本をつける。傾斜角度は20° (±1°)。

(2) リング (輪)

赤色リング4本・黄色リング4本・青色リング1本の計9本。ゴム製で外径16.5cm (±1mm)、内径13.5cm (±1mm)、肉厚12mm×9mm、重量135g (±3g) の日本ワナゲ協会公認リング。

2. コート

投輪ライン (長さ60cm) から台までの距離は2mとし、平坦な場所に設置する。



3. 投輪ルール

(1) ラインを踏まない。

(2) 両足は床につけて投輪する。(図のようにかかとを浮かせてもよい)

(3) 投げたリングが静止するまで投輪ラインを越えたり、次のリングを投げない。



4. 競技方法

(1) 単独投輪方式 (予選)

①1人が9本のリング (赤色4・黄色4・青色1) を続けて投げる。

②リングはどのように持って投げて構わないが、投輪ラインの手前から投げる。その時、両足は地面に接していなければならない。また、ラインを踏んだり、越えたりしてはならない。違反があったリングは、無効リングとして取り除く。

③棒に入っているリングが無効リングによって外れた場合は、外れたリングをもと通り棒に戻す。ただし、ワナゲ台に乗っていたリングが移動した場合はそのままとする。一度床に落ちたリングがその後台上に乗った場合は、無効リングとしてその都度取り除く。

④ワナゲ台の上に乗っていたリングが、その後のプレーで棒に入った場合、有効リングとなる。

*投輪中は台が動いてもそのままにしておく。

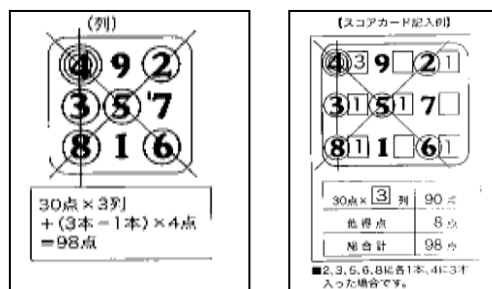
⑤得点は、9本全部のリングを投げ終わった後、審判が計算する。

【得点】

◆リングが入っていた下の数字が得点となる。

◆縦横斜のいずれか1列にリングが入った場合は『一期の原則』により15点×2=30の点数になる。

- ◆全部のボールに1本ずつリングが入った場合は「上がり」（パーフェクト）で300点となる。



(2) 交互投輪方式（決勝）

- ①代表者のジャンケンで勝った方が先攻（赤色リング4本）、負けた方が後攻（黄色リング4本）となり、（『負け後攻の原則』）1投ずつ交互に投輪する。2人目以降については、負け後攻の原則を適用する。
*青色リング（アンカーリングと呼ぶ）は投輪ライン付近の、投輪に支障のない場所に置く。
- ②各4本ずつのリングを投げ終わり、互いの点数を確認した後、点数の低いプレイヤーには「アンカー権」が与えられる。同点の場合は、アンカー権は施行されない（『和の原則』）。
- ③得点は、アンカーリング投輪後に、審判が互いの点数を確認する。
- ④試合は1セットのみ行い、1チーム9人の勝数で勝敗を決する。9人が投げ終わっても、勝敗が決しない場合は各チームで選出した代表者による「一投勝ち」で勝敗を決する。
*「一投勝ち」とは、各自1本ずつリングを投げ、点数の高いものを勝ちとする方法である。それも同点の場合は、勝負が決まるまで投げ合う。
- ⑤セットの途中で勝敗がついても試合は最後（9人目）まで行う。

<リングの投げ方・有効リング・無効リングは単独投輪方式と同じ。>

【得点】

得点の数は単独投輪方式と同じ。

*アンカーリングにも『一期の原則』が適用される。